

住んでよかったと言える 街にしたい みんなの力で変えよう名古屋



市民大集会で市民の要求寄せ合って(12/24市公会堂)

新しい世紀の春、四月に名古屋市長選挙が行われます。この選挙は名古屋市の将来と新しい政治のありかたについて全国的に注目されています。なぜ、松原市長を変えなければダメなのか？ 松原市政の4年間を検証してみよう。

松原市長になってわずか四年間で市の借金は、約四千四百億円も増え合計で三兆二千億円。利子返済だけで毎日三億四千万円という途方もない金額です。

この原因は、松原市長が国と県の大規模事業を無批判に追随し、市議会も自民党主導で市民合意もなしに推進した結果です。防災ではこの数年間、河川整備などの治水費を大幅に減少。市街地の「総合的な治水対策や防災対策」を怠ってきた。その結果、東海豪雨では大災害となり、自然災害ではなく人災とまでいわれています。

「ごみ問題」では、受益者負担が「ごみ問題」での市長の態度

「ごみ問題」では、受益者負担が「ごみ問題」での市長の態度

松原市長は介護保険制度開始と同時に、介護サービスを民間企業に丸投げして自治体の責任を放棄。さら

借金が三兆二千億円も!!

に保険料の減免でも「適当でない」と冷たい態度です。また福祉・医療制度でも愛知県に倣って所得制限を導入。有料化を真つ先行いきました。特養老人ホームの入所待ちが二千人。保育園の待機児童数が約五百人。名古屋の福祉は冷え込むばかりです。

子どもと教育をめぐる状況も深刻です。中学校での不登校の生徒も増えつづけています。教員も正規の採用枠がありながら、臨時教員を採用。父母から強くだされている「三〇人学級の実現を」の声を貸そうとしません。こうした中で起きた五千万円恐喝事件は、市民にとって大きな衝撃でした。

子どもと教育をめぐる状況も深刻です。中学校での不登校の生徒も増えつづけています。教員も正規の採用枠がありながら、臨時教員を採用。父母から強くだされている「三〇人学級の実現を」の声を貸そうとしません。こうした中で起きた五千万円恐喝事件は、市民にとって大きな衝撃でした。

市民の手による

市民の政治を



大型店の出店は野放しで、商店街は閉店が相次いでいます。松原市政で潤うのはゼネコンと大企業ばかりで名古屋の商業は大きな岐路に立たされています。

雇用の危機

地域経済を支える中小企業はこの三年間、六四八四の事業所が、従業員も八万八千人が減りました。中小企業向けの官公需発注は、革新市政時代の五〇数%から三五%に落ち込み、不況のなか労働者の雇用と中小業者の営業は深刻です。

「もうこんな市政はごめん!!」この言葉に切実さがますます今日この頃です。



建交労学童保育支部委員長 角田さん

少子化対策の充実を

女性労働者にとって働くことと子育ての問題は切実な要求です。あわせて少子化が深刻な形で進行している現状を考えると、保育・学童保育の充実、働くものの要求であると同時に、国・自治体の課題であることは明白です。

学童保育の分野では、一九九八年より児童福祉法改正にもなつて、「放課後児童健全育成事業」という法定事業になったにもかかわらず、相変わらず住民の自助努力にまかされています。補助金は、国庫補助の増加分もみだしていきません。そのどころか、横ばいを続けています。国庫補助の総額は、市の持ち出し費用の削減になつてしまっています。

名古屋市議会で「六時までの時間延長」「障害児加算」「家賃補助増額」部分での請願採択がされています。

「もうこんな市政はごめん!!」この言葉に切実さがますます今日この頃です。

「市民の税金を900億も万博や新空港・徳山ダムに使うことの是非」は、**市民投票**で

署名期間は
1月15日～2月15日

革新市政の会は、市民が税金の使われ方や市政のあり方に意見を表明する取り組みとして、市民の税金を万博や新空港、徳山ダムにつかうことの是非を問う「市民投票条例を求める運動」を一月一五日から二月一五日までの一ヶ月間おこないます。

住民投票は徳島市「吉野川可動堰」など全国的な流れとなつていきます。

条例制定には有権者の五%（約三万五千人）以上の署名が必要とされます。市政の会では十五万人以上の署名をめざし、投票条例制定のための受任者（署名を集める人）を一万人以上募っています。

不要不急の公共事業はやめて、税金はくらし・福祉・教育にのしよ。この意思を示しましょう。二〇才以上で住民票に記載されていれば誰でも受任者になれます。

直接請求署名が
が始まります

あなたも受任者に
(署名あつめる人)

障害者が豊かに生きる市政を

名古屋市長は二年前に、市が指定している特定疾患を持つ難病患者の医療費の一部負担を、そして昨年一月には、福祉・医療制度の入院給食費、そしてまた八日には、愛知県に追随して、一部負担の導入をしました。

我が家は、病弱の夫と障害を持つ次男がいます。長男は難病にかかり、未だ仕事につけない状況です。その長男が市からのお知らせ

「まるで赤紙だね」とほつりと言いました。自分の命が、はがき一枚で絶たれてしまつたということでしょう。「仕事も決まらず、その上医療費の有料化。これ以上、両親に負担はかけられない。もう死にたい」とまで言うのです。私は、「障害者だつて生きる権利があるんだ」と泣きながら説得しましたが、胸の中は怒りでいっぱいでした。

障害者は幾つもの疾患を抱え、定期的に医療機関に通っており、その医療費はバカになりません。薄氷を踏むようなぎりぎりの生活をして

「もうこんな市政はごめん!!」この言葉に切実さがますます今日この頃です。

障害者運動を続けて二五年になりますが、本山革新市政が日本一の福祉を実現する中で、「生きていていいんだよ」ということを確認してきました。この間の改悪は「生きることを否定されている」と許せません。

障害者が希望を持てる政治に変えないといけません。万博や空港より社会保障の充実に税金を。日本一といわれた福祉をもとに戻すために、革新市政を誕生させたいと思っています。

愛知県障害者(児)の生活と権利を守る連絡協議会 副会長 磯崎明美

新鮮です組合活動

全労連全国一般ヒット通商支部

「二〇〇一年春の株式の店頭公開をめざして、五〇〇名大募集！」求人情報誌や、電車・バスなどの華々しい吊り広告を見て、IT関連産業・ヒット通商(株)の将来性に、希望を抱きながら就職した若者たち。

「二〇〇一年春の株式の店頭公開をめざして、五〇〇名大募集！」と全労連全国一般・ヒット通商支部(九六人)を結成しました。

希望を持って就職したけど

加藤さんは支部書記長。大学でコンピュータの勉強をし、学んだことが生かせるかと昨春、希望を持って入社。支部執行委員の中田さんは、親会社が光通信だったので、安心して転職した。

しかし会社の実態は、二ヶ月の研修期間があったの三日間。土曜日も毎週出勤、有給休暇は欠勤扱い、おかしな感じ始めた頃から賃金ダウン、そして八月から給料の未払いが。ピーク時には五〇〇人もいた社員も次々に辞めていきました。

その矢先、仲間の一人に赤ちゃんが誕生しました。社会保険の手続きできず、なんとかしたいと愛労連に相談しました。

自分探しの道

「親父の影響もあって労働組合に共産党みたいなイメージがあった。でも争議のこと訴えたら、カンパいっぱい来て、凄くうれしかった。おじさん達も結構熱いと感じました。組合結成も勢いと流れという感じだった。足を一歩踏み込んだのだから最後までやる」と加藤さん。

会社閉鎖で組合つくった若者たち



日本生命(株)での初めての宣伝。少し恥ずかしかったなあー

「組合活動は未知との遭遇」という加藤久義さん。

「組合活動は未知との遭遇」という加藤久義さん。今、毎日新鮮です。就職した会社が会社閉鎖という不幸な結果だったけれど、組合に出会って、自分の道を模索する若い三人に、頼もしさを感じました。

組合事務所に通い詰める今は、毎日新鮮です。就職した会社が会社閉鎖という不幸な結果だったけれど、組合に出会って、自分の道を模索する若い三人に、頼もしさを感じました。



「労働組合も勉強の一つです!」と鈴木結城さん。



「学校で、組合は労働者の権利を守ってくれるところと学びました」と中田幸司さん。



「組合活動は未知との遭遇」という加藤久義さん。

愛労連事務局長 見崎 徳弘

二〇〇一年国民春闘を展望する

春闘は「岐路」にあります。国際競争の勝者—どんな条件でも利益を上げる国際企業をめざす財界は、終身雇用制と年功序列型賃金を破壊してパート・臨時・派遣など低賃金の不安定雇用労働者を急増させ、成果主義賃金の導入で労働者の団結を崩してきています。このもとで労組の組織率は二二%に落ち込みました。本工

共感を広げ、仲間も増やす「世直し」春闘を

うした財界・大企業のやりたいたい放題を後押ししているのも腹立たしいものです。

ただ、このなかで膨らむ「雇用、収入減、老後」の三大不安はたまたかの条件

を大きく広げており、働くルールの確立と「世直し」を求め、未組織・不安定雇用労働者の賃金底上げは、「すべての労働者の賃上げ」に直結します。このたたかいで労組の影響力を高め、組織も大きく増やそうではありませんか。

二つは、不払い(サービス)残業根絶をめぐり、雇用の拡大し権利を守るたたかいを前進させることです。

このたたかいは、財界・大企業の横暴にスト



角谷唯高委員長



高橋テル工書記長

自覚持って活動したい 臨職だけの碧南市臨時職員労働組合 結成



多様多種で、擬似パートといわれ、正規職員と勤務時間も変わりません。

「臨職が自覚を持って参加し、運営できる組合を」と考えてきました。

その成果は少しずつ現れています。臨時看護婦は、正規の看護婦に「あなたたちも組合を作ったらどうか」と働きかけ、「臨職だからといって賃金や労働条件が低いのは我慢できない」と職場集会で堂々と発言するなど、意識が変化してきています。

書記長の高橋テル工さんは、昨年、市職員を定年退職など、実にたくさんの要

昨年の一〇月、加盟していた碧南市職員労働組合から独立。臨時職員だけの組合が誕生しました。

結成時には八〇名だった組合員もこの二ヶ月で二二〇名に。組合員が職場の仲間を誘う。まさに組合員が主人公の労働組合活動の原点です。

臨職が三〇%も……

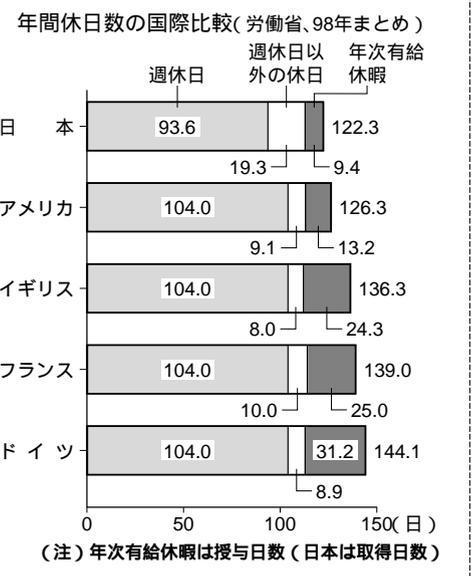
碧南市には臨時職員が現業を中心に、約四百名います。当局は、一九八〇年以降、現業職を臨時職員のみ採用としたため、今では臨職の割合は正規職員の三〇%強。職種も看護婦、学校の用務員、保育士など、

求を実現してきました。意識の変化が……

長年臨時職員の組織化に力を注いできた市職労副委員長・角谷唯高さんは、

角谷さんの夢は、「将来西三河地域のパート組合に発展させること」です。

県下で初めての臨時職員労働組合。二一世紀に向けて実験が始まりました。



渡りチヨウ アサギマダラ 飛ぶ、幡豆の自然守りたい

幡豆の自然守りたい
トラストの会

名古屋から名鉄電車で一時間半。三河湾国定公園に指定された海と山に囲まれた人口約一万三千人の幡豆町。町民の多くが、半農半漁の生活を営んでいます。

「幡豆の里山は、渡りチヨウとして有名なアサギマダラの飛翔ルートになっているんですよ。去年、マーキング調査をしたら、沖繩近くの喜界島まで飛んでいっているんです」と弾んだ声で話す「幡豆の自然を守りたいトラストの会」の代表・島崎幸枝さん。



最近、このアサギマダラが幡豆の里山で誕生しているのではないかとわかってきました。冬はマンサクの花が冬枯れの山を黄色く彩り、春はみつつじや山桜がピンクに染める。夏は山間の湧き水が流れこむ小野力谷川で乱舞するゲンジボタル。

粉塵や土砂災害も心配



「豊かな里山を残したい」と運動を続けるトラストの会代表・島崎幸枝さんと事務局の大竹憲一さん

大好きな幡豆の里山を守ろうと、活動しているトラストの会の島崎さんは、「町民にもせんせん計画案が示されなくなって、私たちの申し入れでやっと愛知県企業庁と幡豆町が説明会を持ちました」と話します。説明会には多くの不安と疑問が出され、予定された時間が延びたほどでした。街を南北に四キロ貫く土砂搬出の為のベルトコンベアーの騒音、振動、粉塵、安全性の問題もあります。島崎さんの家の前の採石場からは、粉塵が締め切った部屋にも入ってきます。「今でも塵肺で健康が心配なのに。」

里山削って新空港埋立土砂にすることは、海上の森を削るのと同じ

知って得するマ+知識

季節風を利用して千キロを超す渡りをするチヨウ・アサギマダラ、幡豆の里へも飛来する

以上一五〇ヘクタールを削り取り、二〇〇五年常滑沖に開港予定の中部国際空港の埋め立て用土砂として使い、跡地を工業団地などに



トラストの会の運動を支えている若者、大竹憲一さんは、「町民もこの自然を生かした町づくりを望んでいるはずですよ。ムダな開発事業を辞めさせるためにも、町全体の問題としてみんなで考えていきたい」と話しています。



何十年、何百年と繰り返され、受け継がれてきた年末、年始の営み。ただで案外ルーツを知らないことが多いですね。

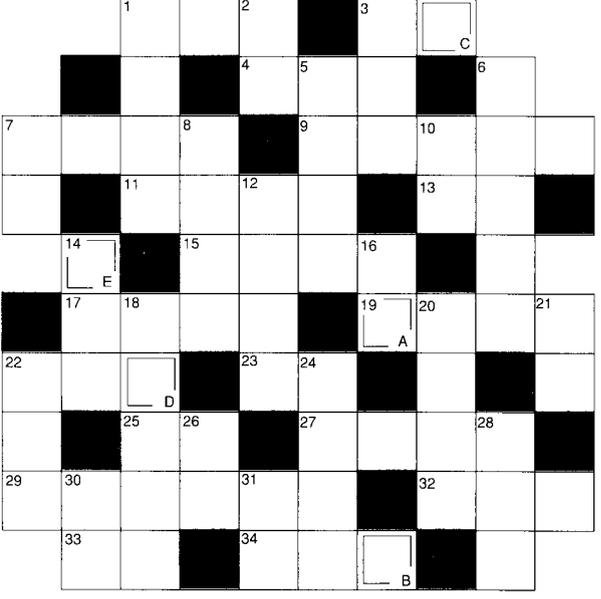
除夜の鐘 心を乱す一〇八の煩悩を払う除夜の鐘。一〇七は旧年中

に、最後の一年を新年に突くのが習わしだそうです。お節(せち) 正月に食べるご馳走。しかし大晦日の晩に食べる地方もあるそうです。なぜかというところ、古くは夕日が沈んでから一日の始まりと数えたので、大晦日の晩はもう正月に入っていることになりま

元日 元日の朝のこと。「元」は「先端」とか「はじめ」の意。「旦」は地平線の上に「日」が出ている様子を表します。屠蘇(とそ) 不老長寿の効があるとして正月に飲む酒のこと。山椒(さんしょう)、肉桂(ニッキ)などの薬草を砕いて調合したものを袋に入れてミ

リンにひたしてあります。あの独特の香気は薬草の匂い。松の内 正月の松飾りを立てている間のこと。三日まで、七日までなどいろいろありますが、一五日までの地方が多いそうです。二三日までのごちそうもありません。鏡開き 正月に床の間に飾った鏡餅(昔の鏡に似て

クロスワード クイズ お年玉つき



二重枠をA B C 順に並べるとことばができます

タテのカギ

- 1、東京の魚屋さんが魚を仕入れる場所
- 2、節分だけでなくも願いたい福は〇〇!
- 3、雨が降るとぬかるんで
- 5、くさい臭いをだす昆虫
- 6、ネジを締めるのに使う道具
- 7、抜け道の多い法律は、〇〇法
- 8、夏の電気使用量アップの原因
- 10、道楽者。〇〇息子
- 12、午後の紅茶は〇〇〇〇式
- 14、アクロバチックな技の〇〇〇体操
- 16、南国をイメージさせる木
- 18、アイスクリームなどをしまつ場所
- 20、大晦日。このまま日の出を見ようか
- 21、マクロで高級とされる部分は
- 22、ノーマークの状態
- 24、生まれ変わり。再生
- 26、キャッチセールスなど甘い〇〇
- 28、ゴルフではこれが長さの単位
- 30、父・母の兄弟
- 31、英語ではクロス

ヨコのカギ

- 1、脳で感性の働きをする部分
- 3、冬にはおっとおくと風邪をひく
- 4、これが動くと地震が起きます
- 7、クイズの名人が得意な分野
- 9、お昼に多い番組
- 11、民放で番組の間に流される
- 13、黒パンは〇〇麦から作られる
- 15、会社に訪ねてくること
- 17、インド料理に欠かせない
- 19、〇〇〇〇パンツ、〇〇〇〇ケーキ
- 22、これが高くなったら洪水に注意
- 23、自分たちでも楽しめる〇〇野球
- 25、結婚式で誓う〇〇の愛
- 27、ちょっと一杯。気軽に入れる
- 29、広々とした大海のこと
- 32、敷布のこと
- 33、お正月は飲酒が原因でこれが増加
- 34、2台1組のベッドがある部屋

応募方法

答え、住所、氏名、組合名、近況などをお書きください。近況は場合によっては紙面に使わせて頂きますのでご了承下さい。締切 2月10日 宛先 愛労連・教宣部 賞品 正解者の中から抽選で図書券を20名に差し上げます。